平成24年11月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年７月２日

上場会社名	イーサポートリンク株式会社		上場取引所　大
コード番号	2493	ＵＲＬ　http://www.e-supportlink.com/	
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）堀内 信介	
問合せ先責任者	（役職名）取締役	（氏名）仲村　淳	ＴＥＬ　03-5979-0784
四半期報告書提出予定日	平成24年７月13日	配当支払開始予定日	－

四半期決算補足説明資料作成の有無：　有　　（補足資料は四半期決算説明会開催後ホームページに掲載予定です）
四半期決算説明会開催の有無　　：　有　　（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成24年11月期第２四半期の連結業績（平成23年12月１日～平成24年５月31日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第２四半期	2,109	3.0	278	34.5	270	35.1	252	43.7
23年11月期第２四半期	2,048	△1.7	207	51.0	200	46.7	175	28.2

（注）包括利益　24年11月期第２四半期　253百万円（44.4%）　23年11月期第２四半期　175百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第２四半期	5,696.13	－
23年11月期第２四半期	3,965.08	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年11月期第２四半期	3,857	2,273	58.9
23年11月期	3,629	2,020	55.7

（参考）自己資本　24年11月期第２四半期　2,273百万円　23年11月期　2,020百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	－	0.00	－	0.00	0.00
24年11月期	－	0.00			
24年11月期（予想）			－	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成24年11月期の連結業績予想（平成23年12月１日～平成24年11月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,228	1.1	468	17.1	449	16.5	404	△35.7	9,141.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細については、四半期決算短信（添付資料）４ページ「２.サマリー情報（注記事項）に関する事項（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年11月期２Ｑ	44,248株	23年11月期	44,248株
②　期末自己株式数	24年11月期２Ｑ	－株	23年11月期	－株
③　期中平均株式数（四半期累計）	24年11月期２Ｑ	44,248株	23年11月期２Ｑ	44,248株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「１.当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
（４）追加情報 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報等 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11
（７）重要な後発事象 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資などの緩やかな持ち直しの傾向が見え始めたものの、雇用情勢など未だ厳しい状況で推移いたしました。

生鮮青果物流通業界におきましては、バナナの輸入量・価額が概ね前年並みで推移し、小売業の店舗調整後の食料品販売額は昨年度の震災需要の反動があったものの、概ね前年並みで推移いたしました。またＩＴ関連投資に関する国内売上高は前年を上回る水準で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、「全ては生産者と生活者のために」を経営理念に掲げ、「食の流通情報を活用し、生産者の暮らしを支え、生活者の食生活に貢献する」企業グループを目指しております。この実現に向けて、事業基盤の強化に向けた業務受託における生産性の向上や総合的なサービスレベルの向上等に継続して取り組むとともに、当社が強みを持つサービスの拡販営業活動を推進し、新規顧客獲得に努めてまいりました。

こうした中、再構築を見据えて現行イーサポートリンクシステムの保守・カスタマイズを抑制したこと、また生鮮ＭＤシステムの流通量、業務受託の処理量増加等により、前年同期と比較して増益となりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は21億９百万円（前年同期比3.0％増）、営業利益は２億78百万円（同34.5％増）、経常利益は２億70百万円（同35.1％増）、四半期純利益は２億52百万円（同43.7％増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

（システム事業）

システム事業におきましては、主として流通における情報システムの提供を行っております。提供サービスに関わるソフトウェア、ハードウェアなどの保守・機能拡張を実施し、サービスレベル向上や災害対応力強化に努めております。

輸入青果物サプライチェーン向けに提供するイーサポートリンクシステムにおきましては、現行システムの安定運用を継続すると共に、近年の多様化する顧客ニーズへの一層の対応を目指し、再構築に向けた開発を進めてまいりました。大手量販店デマンドチェーン向けに提供する生鮮ＭＤシステムにおきましては、利用取引先数、データ件数を増加させてまいりました。

以上の結果、売上高は10億46百万円（前年同期比4.0％増）、セグメント利益は３億36百万円（同20.3％増）となりました。

（業務受託事業）

業務受託事業におきましては、主としてサプライチェーンにおける流通オペレーション機能を提供し、生産性向上による更なる流通合理化に努めております。サプライチェーンの流通合理化を実現するため、オペレーション効率化、人員配置適正化、災害対応強化などを進めてまいりました。

以上の結果、売上高は９億80百万円（前年同期比4.5％増）、セグメント利益は３億55百万円（同11.7％増）となりました。

（農産物販売事業）

農産物販売事業におきましては、生産者との連携強化及び販路の拡大、収益力の改善に努めてまいりましたが、収支均衡には至りませんでした。

以上の結果、売上高は82百万円（前年同期比20.5％減）、セグメント損失は28百万円（前年同期はセグメント損失23百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産の部

当第２四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末と比べて２億28百万円増加し、38億57百万円（前連結会計年度末比6.3％増）となりました。内訳としては、流動資産が26億44百万円（同4.3％増）、固定資産が12億９百万円（同11.2％増）、繰延資産が３百万円（同25.1％減）となりました。

流動資産の主な増加要因は、有価証券が１億99百万円増加した一方、現金及び預金が79百万円、未収入金が32百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定資産の主な増加要因は、ソフトウエア仮勘定が１億89百万円増加したことによるものです。

② 負債の部

当第２四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末と比べて25百万円減少し、15億83百万円（同1.6%減）となりました。内訳としては、流動負債が10億１百万円（同6.0%減）、固定負債が５億82百万円（同7.2%増）となりました。

流動負債の主な減少要因は、未払金が41百万円減少したことによるものです。

固定負債の主な増加要因は、長期借入金が62百万円増加したことによるものです。

③ 純資産の部

当第２四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べて２億53百万円増加し、22億73百万円（同12.5%増）となりました。この結果、自己資本比率は58.9%となりました。

その主な増加要因は、四半期純利益を２億52百万円計上したことによるものです。

④ キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比して１億20百万円増加し、20億52百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は３億22百万円（前年同期は４億58百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益を２億70百万円、減価償却費を１億17百万円計上したこと、その他の流動負債が56百万円減少したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は２億34百万円（前年同期は50百万円の支出）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出２億17百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は32百万円（前年同期は１億37百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の純増額62百万円、社債の償還による支出30百万円等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、第２四半期累計期間の差異に加え、業務受託事業の業績が堅調に推移する見込みであるものの、システム運用管理費用の増加等を見込んでおります。

以上により、平成24年11月期の通期業績予想を以下の通り修正いたします。

①連結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	4,217	388	371	361	8,175.34
今回修正予想（B）	4,228	468	449	404	9,141.02
増減額（B－A）	11	80	77	42	－
増減率（%）	0.3	20.7	20.8	11.8	－
（ご参考）前期実績（平成23年11月期）	4,182	399	385	629	14,226.45

②個別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	4,041	404	409	400	9,053.78
今回修正予想（Ｂ）	4,141	518	469	433	9,790.17
増減額（Ｂ－Ａ）	100	113	59	32	－
増減率（％）	2.5	28.0	14.5	8.1	－
（ご参考）前期実績（平成23年11月期）	4,047	453	333	588	13,293.00

※ 平成24年１月19日に公表いたしました平成24年11月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「平成24年11月期第２四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

（法人税率の変更等による影響）

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月２日に公布され、平成24年４月１日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。この税率変更により、未払法人税等は11百万円増加し、法人税等は同額増加しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年11月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年５月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,932,060	1,852,257
売掛金	381,786	399,779
有価証券	―	199,971
商品及び製品	402	68
仕掛品	6,708	1,097
原材料及び貯蔵品	7,185	6,151
その他	208,688	185,534
貸倒引当金	△318	△100
流動資産合計	2,536,513	2,644,760
固定資産		
有形固定資産	250,476	258,201
無形固定資産		
ソフトウエア	335,259	257,032
ソフトウエア仮勘定	102,285	291,535
その他	35,095	30,159
無形固定資産合計	472,639	578,727
投資その他の資産		
その他	431,699	440,455
貸倒引当金	△67,145	△68,354
投資その他の資産合計	364,553	372,101
固定資産合計	1,087,669	1,209,029
繰延資産	4,961	3,716
資産合計	3,629,144	3,857,507
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,837	1,723
短期借入金	381,600	396,400
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	55,200	55,200
未払法人税等	14,363	25,440
賞与引当金	20,262	21,326
その他	525,231	441,412
流動負債合計	1,065,495	1,001,504
固定負債		
社債	110,000	80,000
長期借入金	81,600	144,000
退職給付引当金	241,603	258,234
資産除去債務	27,084	36,862
その他	82,961	63,050
固定負債合計	543,250	582,147
負債合計	1,608,745	1,583,651

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年11月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年５月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,721,514	2,721,514
資本剰余金	620,675	620,675
利益剰余金	△1,319,368	△1,067,326
株主資本合計	2,022,820	2,274,863
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,422	△1,007
その他の包括利益累計額合計	△2,422	△1,007
純資産合計	2,020,398	2,273,855
負債純資産合計	3,629,144	3,857,507

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年12月１日 至　平成23年５月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年12月１日 至　平成24年５月31日）
売上高	2,048,843	2,109,692
売上原価	1,300,624	1,266,606
売上総利益	748,219	843,086
販売費及び一般管理費	540,861	564,207
営業利益	207,357	278,878
営業外収益		
受取利息	168	220
受取配当金	496	－
物品売却益	1,137	1,150
受取保険金	1,266	－
業務受託料	500	3,308
その他	104	59
営業外収益合計	3,673	4,739
営業外費用		
支払利息	6,444	7,198
その他	4,338	5,787
営業外費用合計	10,783	12,986
経常利益	200,248	270,631
特別利益		
投資有価証券売却益	－	283
特別利益合計	－	283
特別損失		
投資有価証券評価損	1,991	427
リース解約損	704	287
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	14,510	－
その他	206	53
特別損失合計	17,411	768
税金等調整前四半期純利益	182,836	270,147
法人税等	7,389	18,105
少数株主損益調整前四半期純利益	175,446	252,042
四半期純利益	175,446	252,042

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年12月１日 至　平成23年５月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年12月１日 至　平成24年５月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	175,446	252,042
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72	1,414
その他の包括利益合計	72	1,414
四半期包括利益	175,518	253,457
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	175,518	253,457

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年12月１日 至　平成23年５月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年12月１日 至　平成24年５月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	182,836	270,147
減価償却費	131,909	117,443
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	14,510	－
投資有価証券評価損益（△は益）	1,991	427
退職給付引当金の増減額（△は減少）	13,258	16,630
賞与引当金の増減額（△は減少）	640	1,063
貸倒引当金の増減額（△は減少）	865	990
売上値引引当金の増減額（△は減少）	△154	－
受取利息及び受取配当金	△665	△220
支払利息	6,444	7,198
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△283
繰延資産償却額	1,244	1,244
有形固定資産除却損	206	53
売上債権の増減額（△は増加）	210,341	12,299
たな卸資産の増減額（△は増加）	24,204	6,978
仕入債務の増減額（△は減少）	12,862	9,657
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△12,933	△26,775
その他の固定資産の増減額（△は増加）	395	△3,524
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△92,057	△56,602
その他	△25,148	△19,861
小計	470,750	336,867
利息及び配当金の受取額	665	220
利息の支払額	△6,252	△7,543
法人税等の支払額	△7,019	△6,860
営業活動によるキャッシュ・フロー	458,143	322,684
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,262	△11,042
無形固定資産の取得による支出	△49,675	△217,098
敷金及び保証金の回収による収入	1,235	441
敷金及び保証金の差入による支出	△2,000	△9,672
投資有価証券の売却による収入	－	284
その他	1,000	2,496
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50,703	△234,591
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△30,000	14,800
長期借入れによる収入	－	90,000
長期借入金の返済による支出	△68,500	△27,600
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△9,264	△15,123
財務活動によるキャッシュ・フロー	△137,764	32,076
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	269,676	120,169
現金及び現金同等物の期首残高	1,325,644	1,932,060
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,595,321	2,052,229

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自 平成22年12月１日 至 平成23年５月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	システム事業	業務受託事業	農産物販売事業	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高						
外部顧客への売上高	1,006,793	937,806	104,243	2,048,843	－	2,048,843
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,091	3,459	1,252	7,803	△7,803	－
計	1,009,885	941,266	105,495	2,056,647	△7,803	2,048,843
セグメント利益又は損失（△）	279,336	318,062	△23,517	573,881	△366,524	207,357

（注）１ セグメント利益又は損失の調整額△366,524千円には、セグメント間取引消去4,798千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△371,322千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
２ セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自 平成23年12月１日 至 平成24年５月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	システム事業	業務受託事業	農産物販売事業	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高						
外部顧客への売上高	1,046,753	980,064	82,875	2,109,692	－	2,109,692
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,103	3,117	3,470	9,691	△9,691	－
計	1,049,857	983,181	86,345	2,119,383	△9,691	2,109,692
セグメント利益又は損失（△）	336,114	355,376	△28,795	662,695	△383,816	278,878

（注）１ セグメント利益又は損失の調整額△383,816千円には、セグメント間取引消去6,429千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△390,245千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
２ セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。